

様式第 1 号

談合情報報告書

平成 年 月 日

情報を受けた日時・場所	平成 年 月 日 () 時 分
対象案件名	
開札 (予定) 日	平成 年 月 日 () 時 分
通報者 提供者	氏名 連絡先
受信者	所属・氏名
情報手段	電話 書面 面接 報道
情報内容	
応答の概要	
問い合わせ先	TEL .

談合情報があったときの聞き取り・確認事項（第3の1（1）の再掲）

ア 通報者の氏名：

イ 通報者の連絡先：

ウ 対象案件名：

エ 対象案件の履行場所：

オ 落札予定業者名（特定JVの場合は代表者名を含む。）：

カ 当該入札に参加する業者名：

キ 具体的な落札予定価格又は落札率：

ク他にこの情報を知っている人はいるか：

ケ 情報の入手先

提供者の氏名：

連絡先：

情報入手の手段（電話、会話等）：

通報者との関係：

コ 入札談合をしていると思われるような根拠として

（ア）入札談合に関与した業者名又は氏名：

取りまとめを行った者の業者名又は氏名：

（イ）入札談合が行われた日時：

場所：

方法：

（ウ）総合評価方式の場合

技術提案の内容にかかる談合方法の具体的な情報

（エ）客観的物的証拠（メモ、録音又は録画テープ、ファックス送信表等）

サ その他入札談合に参加した当事者以外には知り得ない情報や公表していない事項

談合疑義事実報告書

平成 年 月 日

事実を得た日時	平成 年 月 日 () 時 分
対象案件名	
開札 (予定) 日	平成 年 月 日 () 時 分
発注機関名	
談合の疑義の内容	
問い合わせ先	T E L .

談合疑義のきっかけとなった資料等を添付すること。

発注機関の長 様

三重県公正入札調査委員会委員長
各部局等の公正入札調査委員会委員長

談合情報に係る取扱いについて（通知）

【 A 】発注の【 B 】の入札に係る談合情報については、【 C 】ため、【 D 】。

A = 発注機関名

B = 対象案件名

C = 理由を記載すること。

記載例

- ・ 開札結果が談合情報と一致する
- ・ 談合情報が入札談合の事実を掌握している者にしか知り得ない情報である
- ・ 開札結果が談合情報と異なる
- ・ 開札後の談合情報であり入札談合の事実を把握していない者でも知り得る情報である

など

D = 1 . 三重県建設工事等談合対応マニュアルに基づく調査の実施をお願いします

2 . 談合情報として扱わないこととします

を選択すること。

を記載すること。

発注機関の長 様

三重県公正入札調査委員会委員長
各部局等の公正入札調査委員会委員長

談合疑義事実に係る取扱いについて（通知）

【 A 】発注の【 B 】の入札に係る談合疑義事実につ
いては、【 C 】ため、【 D 】。

A = 発注機関名

B = 対象案件名

C = 理由を記載すること。

記載例

- ・入札談合があると疑うに足りる事実である
- ・入札談合があると疑うに足りる事実ではない

など

D = 1 . 三重県建設工事等談合対応マニュアルに基づく調査の実施をお願いします

2 . 談合疑義事実として扱わないこととします

を選択すること。

を記載すること。

様式第3号

事情聴取書（例）

工事名

業者名

事情聴取を受けた者

事情聴取者

日時・場所

質問	聴取内容
1．今回の入札に参加した他の業者名を事前に知っていましたか。	
2．本件工事について、電話等も含めて他社の人と何らかの打合わせ、又は話合いをしたことがありますか。	
3．あったとすれば、どのような内容の打合わせ、又は話合いでしたか。	
4．他社から打合せ、話合いを行う旨の連絡はありましたか。又は連絡をしませんでしたか。	
5．誰から、いつ、どのような方法で連絡がありましたか。また、その内容を具体的に教えてください。 又は、いつ、どのような方法で連絡をしましたか。また、その内容を具体的に教えてください。	
6．工事の入札に先立ち、すでに落札業者が決定しているとの情報がありますが、そのような事実を知っていますか。	
7．いつ、どこで、誰から話を聞きましたか。また、誰が落札すると聞きましたか。	
(総合評価案件の場合) 8．本案件は総合評価方式での入札ですが、自社の企業及び技術者の能力による評価点並びに技術提案による評価点は何点だと考え、応札しましたか。	

様式第 4 号

第 号
平成 年 月 日

発注機関の長 様

三重県公正入札調査委員会委員長
各部局等の公正入札調査委員会委員長

平成 年度第 回【 A 】の調査結果について

【 B 】発注の案件について、年 月 日に【 A 】を開催し、
下記のとおり審議しましたので通知します。

記

1. 対象案件名

2. 審議結果

記載例

- ・「入札談合の事実は確認できない」との結論になりました。
- ・「入札談合の事実は確認できないが、入札参加者の工事費内訳書の内容に不審な点があるため、入札談合の疑いが払拭できない」との結論になりました。
など適宜記載すること。

A = 三重県公正入札調査委員会又は各部局等の公正入札調査委員会

B = 発注機関名

を記載すること。

様式第5号

第 号
平成 年 月 日

公正取引委員会事務総局中部事務所長 様
三重県警察本部刑事部長 様

建設工事等を所掌する部局等の長

談合情報等に関する資料の送付について

【 A 】発注の【 B 】の入札に係る談合情報等に関する資料を、別添のとおり送付いたします。

1. 添付資料

- (1) 談合情報報告書（又は談合疑義事実報告書）
- (2) 事情聴取書
- (3) 入札結果調書
- (4) 誓約書（写）
- (5) その他関連資料

通報の時点で添付可能な資料を添付すること。

2. 対応状況

通報の時点での対応状況を記載すること。

記載例

- ・ 月 日、談合情報が入りました。 月 日に開札を行ったうえで調査の実施について判断します。
- ・ 開札結果が談合情報と一致したため、落札者決定を保留し、三重県建設工事等談合対応マニュアルに基づく調査を実施します。
- ・ 開札の結果、談合情報と一致しなかったため、談合情報として扱わないこととしました。
- ・ 三重県建設工事等談合対応マニュアルに基づく調査を実施したところ、談合の事実の確認できませんでした。

など

A = 発注機関名

B = 対象案件名

を記載すること。